



2009年6月7日

いま起きつつあること…

アカラ信仰
告白の学び
を通して③

時代のしるしを 読む

「アカラ信仰告白」は、全部で42条項あります。初めの4条項が序文で、第5条項から信仰告白の条文が始まります。その最初の見出しは「時代のしるしを読む」であり、ローマの信徒への手紙8章22節「被造物が呻き続けている声が聞こえてくる」が取り上げられ、「信仰告白の事態」の原点が述べられています。続く第6条項には、「大規模な脅威の根本原因は、何にもまして、政治的、軍事的な力によって擁護され、保護されている不公正な経済シ

ステムの産物であり、そのシステムは生死に関わる問題である」とあります。そして日々、貧困と栄養不良によって2万4千人が亡くなっている事実が述べられて、先進工業国の無制限な成長政策と多国籍企業追求は、地球を略奪し、環境破壊を与え、気候変動、漁業資源の枯渇、土壌浸食、水資源への脅威など破壊的な結果を招いているとあります。

こうした危機は、ネオリベラリズム（新自由主義）による経済グローバル化の進展が直接的に関わっていること。これは、貧しい人々と被造物に際限なく犠牲を供出するよう求め、富の創造と繁栄によって世界を救うと約束し、命の統治権を主張し、全面的な忠誠を求め、それはまさに偶像礼拝であると暴いています。

経済的不正義に 立ち向かう信仰

世界改革教会連盟総会は、地球規模の経済的な正義を行うことが、私たちが真に神を信じ、キリストの弟子であるのかどうかに関わる本質的な事柄であると断言しています。こうした経済的不正義を前にして沈黙したり、行動を拒否したりするならば、私たちの信仰は危機に瀕すると言います。それゆえに、神と互いの前に信仰を言い表し、第17条項以降、「わたしたちは信じる」と信仰の内実を述べ、その信仰告白を根拠として、それに続く条項で「それゆえに、わたしたちは拒否する」と述べていきます。こうした対句で第31条項まで続き、第32条項以降は、自らの罪を告白し、神を賛美しています。

わたしたちと子孫が 生きるために

よる前進を強く促して、第41条項で次のように言い表しています。「総会は、世界改革教会連盟が公平な経済と被造物の保全のために他教派の世界的交わりやエキモメニカルな共同体、他宗教の共同体、市民運動、民衆運動と共に働くことを表明し、加盟教会もそうすることを求める」と。それを述べた後、最後の第42条項を「今、わたしたちは情熱をもって宣言する。わたしたち自身、わたしたちの間、そしてエネルギーを、経済と地球を革新し、新たにし、取り戻すために捧げられることを。わたしたちと、わたしたちの子孫が生きるために（申命記30章19節）」と結んでいます。今起きつつあることに、しっかりと信仰告白し、立ち向かっていかなければ、私たちの信仰は空虚なものとなっていくでしょう。ぜひ「アカラ信仰告白」（荒瀬牧彦訳）の条項を読んでください。終